

氏名	川田虎男	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	地域福祉・福祉教育・ボランティア・社会デザイン				
学位	博士（社会デザイン学）				
学歴	2009年3月 立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科 博士前期課程 修了 2022年3月 立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科 博士後期課程 修了				
経歴	2002年社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会、2007年日高市議会議員、2011年特定非営利活動法人ハンズオン埼玉（現在代表理事）、2012年聖学院大学ボランティア活動支援センターアドバイザー兼講師、2024年4月埼玉県立大学保健医療福祉学部 准教授				
所属学会（役職）	日本福祉教育・ボランティア学習学会（理事）、社会デザイン学会（理事）、日本地域福祉学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	SDGsで世界を探索する－9つのテーマから学ぶ	共著	あり	聖学院大学出版会、236頁		編著者：鈴木詩衣菜、共著者：西海洋志、長嶋佐央里、若原幸範、 <u>川田虎男</u> 、小沼聖治、江崎聡子、久保田翠、木下綾子	2025.4
2	まちを耕す トークフォークダンスで語ろう	共著	あり	ころから、114頁		編著者：西川正、共著者：石原裕子、 <u>川田虎男</u> 、梅原達巳、山口覚、吉田雅樹	2025.10
3	ふくしと教育 通巻44号「③学生たちのボランティアを通した学びを支える」	共著	あり	大学図書出版、126頁		<u>川田虎男</u> 、他	2026.3
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし						
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	令和6年能登半島地震における 学生による災害福祉支援活動に関する研究（その1）	共同	日本地域福祉学会第39回大会（兵庫大会）		○新井利民・ <u>川田虎男</u>		2025.6
2	令和6年能登半島地震における 学生による災害福祉支援活動に関する研究（その2）	共同	日本地域福祉学会第39回大会（兵庫大会）		○ <u>川田虎男</u> ・新井利民		2025.6
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし						
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	福祉サービスの組織と経営	○	15	社会福祉法人等、福祉サービスを担う組織の経営と運営について学ぶ科目。映像やベアワーク等を活用し理解を深めるよう努めた。			
2	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	○	15	地域福祉の概念や地域住民による支え合いについての理解を深めるため、実践者の話やグループワークを活用した。			
3	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	○	15	地域共生社会の理念や行政の財源・福祉計画について理解を深めるため、具体的な行政計画策定現場とも連携しながら授業を展開した。			

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	社会福祉演習		15	ソーシャルワークの前提である「人間理解」に重点を当てた演習であり、コミュニケーションに関わるワークを多く実施した。
2	ソーシャルワーク演習Ⅰ		15	ソーシャルワークの基本的な姿勢（受容・傾聴等）について、ロールプレイ等を通して実践的に学習できるよう関わった。
3	社会福祉専門演習Ⅰ・Ⅱ	○	15×2	受講生5名に対して、卒業論文執筆に関わる講義を行うとともに、グループディスカッションや地域福祉に関わる現場視察を行った。
4	社会福祉専門演習Ⅲ・Ⅳ	○	15×2	受講生4名に対して、卒業論文執筆に関わる指導の他就職活動や国家試験対策等、最終学年の取り組みをゼミ形式で共有した。
5	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		15	実習に向けた事前指導として位置付けられる科目。少人数でグループワーク等を行い個々人の学びを深めるよう工夫した。
6	IPW演習		8	多職種連携で重要な葛藤や合意形成などの能力を体験的に修得できるよう、ファシリテーターとして関わった。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク実習Ⅰ		2026.2-2026.3 (120時間)	10名の学生に対し、ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術を統合できるよう、個々に面談を行い指導を行った。
2	ヒューマンケア体験実習	○	4日間、6コマ	1年次生を対象に、施設とのコミュニケーションを密に、初めての实習が安心して進められるよう、やるべきことや心構えなどを伝えた。科目責任者として振り返りの会を担当。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2026.2-2026.3	主指導	4名 副指導0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	聖学院大学非常勤講師	2025.4-2026.3	「ボランティア実践論」「ボランティア概論」を担当した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	彩の国福祉教育・ボラティア学習推進員ネットワーク「あったかウェルねっと」研修会	彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク	グループワーク「若者と一緒に考えよう!〜地域共生社会を実現するには〜」のファシリテーターを担当	2025.5
2	2025年度埼玉県立大学社会福祉士実習指導者講習会	埼玉県立大学地域連携センター	実習マネジメント論の講義を担当	2025.6
3	学生サポートメンバー養成講座	聖学院大学ボランティア活動支援センター	「アイスブレイク」をテーマに講演・グループワークを実施	2025.6
4	埼玉ホームスタート協議会研修会	埼玉ホームスタート協議会	「ホームスタートにおけるボランティア活動」をテーマに講師兼グループワークの進行を担当	2025.7
5	大学ボランティアセンター職員セミナー2025	日本ボランティアコーディネーター協会	【分科会1】「大学ボラセンの現場から考えるインクルーシブボランティア」におけるコメンテーターを担当	2025.9
6	社会福祉協議会武里団地地区支部研修	春日部市社会福祉協議会	「地域のつながりづくりについて」をテーマに地元の自治会長・民生委員を対象に講義とワークを実施	2025.9

7	たまねっこ養成講座（さいたま市地域の担い手養成研修）×2回（浦和会場・大宮会場）	さいたま市	地域の担い手として必要な視点、コミュニケーション技術に関する講義とグループワークのファシリテーターを担当	2025.11
8	つながりサポーター養成講座	鶴ヶ島市社会福祉協議会	「誰ひとり取り残さない地域を目指して」をテーマに講義とグループワークを実施	2025.11
9	みんなでつくる買い物支援勉強会第3回	宮代町社会福祉協議会・宮代町健康介護課	「居場所づくりを考えよう」をテーマに講義とワークを実施	2025.12
10	2026ひだかボランティアフェスタ	ボランティアサポーターズクラブ（VSC）・日高市社会福祉協議会	ボランティア入門講座の講師	2026.1
11	はじめてのボランティア講座	草加市社会福祉協議会	「地域とわたしをつなぐボランティア～はじめての一步をふみだそう～」と題して講義とグループワークを実施	2026.2
12	令和7年度「福祉委員とサロン活動者の合同フォローアップ研修」	吉川市社会福祉協議会	「地域の困りごとに気づき合い、支え合う～つながりが生まれるまちづくりについて～」をテーマに講義とワークを実施	2026.2
13	龍谷大学ボランティア・NPO活動センター主催ボランティアに関する講座	龍谷大学ボランティア・NPO活動センター	「ミライをつくるリーダーシップ」を考えるをテーマに講義とワークを実施	2026.2
14	令和7年度 ふくしまのごとフォーラム	吉見町社会福祉協議会	『与えることは 与えられること～自分の人生の柱となる言葉や人との出会いを～』をテーマに基調講演と実践報告のコメンテーターを担当	2026.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	日高市		地域福祉計画策定等委員会委員	2025.4-現在
2	昭島市		市民活動支援事業補助金審査会委員	2026.3-現在
3	社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会		評議員	2025.6-現在
4	東京ボランティア・市民活動センター（社会福祉法人東京都社会福祉協議会）		大学ボランティア推進調査プロジェクトメンバー	2024.4-2026.3
5	社会福祉法人越谷市社会福祉協議会		ボランティアセンター運営委員 委員長	2024.12-現在
6	生活協同組合パルシステム埼玉		埼玉市民活動支援金運営委員会 委員長	2021.4-現在
7	コープみらい×中央共同募金会		「子ども・子育て支援助成」審査員	2022.9-2026.3
8	社会デザイン学会		理事（研究発表担当）	2025.6-現在
9	日本福祉教育・ボランティア学習学会		特任理事（11月まで）、理事（12月より）	2022.11-現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	東武よみうり新聞（2面）	県立大学の学生が能登半島支援の報告会を実施した記事において、被災地における学生ボランティアへの期待と意義についてコメントした。		2025.4
2	NHK Eテレ（番組の一部監修）	NHK Eテレ「おとな時間研究所」、「私にできるボランティア」の回において、ボランティアの始め方に関するテキストを監修した。本放送:【Eテレ】2025年 12月 26日(金)20:00～20:45、再放送:【Eテレ】2026年 1月 8日(木)12:15～13:00		2025.5
3	朝日新聞 SDGs ACTION!	ボランティア活動の例を一覧紹介 選び方やキャリアへの生かし方を解説 https://www.asahi.com/sdgs/article/15982090		2025.9

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	NPO法人ハンズオン埼玉	代表理事として、団体の運営の他、地域福祉に関わる事業全般に関わった。	2011.11-現在
2	地域貢献活動	聖学院大学	同大ボランティア活動支援センター、地域連携・教育センター、サステイナビリティセンターの3つのセンターのアドバイザーとして助言・指導を行った。	2012.6-現在
3	地域貢献活動	災害福祉学生活動支援ネットワーク S A I T A M A	日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の能登支援の活動と連携し、県立大学の学生を中心に埼玉の学生ボランティアの支援を行うとともに、学習会等のサポートを行った。	2024.4-現在
4	地域貢献活動	埼玉県社会福祉協議会	埼玉県社協からの依頼を受け「市町村社協人材確保・定着プロジェクト」メンバーと地域福祉論3年ゼミ生との意見交換会を実施した。	2025年12月
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	地域連携委員会 委員		2025.4-2026.3
2	大学広報活動	オープンキャンパス		2025.4-2026.3
3	学科等における委員会等	2年次学年担当		2025.4-2026.3
4	学科等における委員会等	国家試験支援委員 教員による対策講座等を担当		2025.4-2026.3
5	学生支援	「災害ボランティアサークル リンク」と「紙ひこうき」の顧問		2025.4-2026.3
6	学生支援	ホームカミングデーイベント発表者		2025.10
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名		主催	受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名		特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	国家資格「社会福祉士」保有			